



阿武隈川は洋々と

宮城県伊具高等学校
〒981-2153 伊具郡丸森町雁歌51
電話 0224-72-2020 FAX 0224-72-1322
ホームページアドレス <http://igu.myswan.ed.jp/>

令和元年度 卒業式を挙行いたしました

3月1日(日)に本校卒業式を挙行いたしました。丸森町長保科郷雄様をはじめ多くの御来賓をお迎えして挙行しました。新型コロナウイルス感染拡大防止のために在校生は代表生徒のみとして規模縮小しての卒業式になりました。卒業生75名の新しい門出を祝い、式辞ではこれからの変化の激しい社会での働き方・生き方について、「させる/させられる」の縦の関係ではなく、「してもらう/してあげる」という互いに助け合う関係性を持ち、それぞれの職場や学校で生活して欲しいと話しました。町長保科郷雄様の祝辞では、堅い決意を持って進む人は困難に遭っても目標を成し遂げることができるという励ましと、将来はこの地に戻って、町を盛り上げる人になって欲しいと祝辞を頂戴しました。

送辞は在校生を代表して、生徒会長の佐久間しおんさんが卒業生と過ごした思い出と何事にも積極的に取り組む姿に感動し、卒業生から学んだ学びの在り方と互いに協力し合いことの伝統をこれからも引き継いでいく決意と卒業生のこれからの幸せを祈念する温かい心のこもった送辞でした。

卒業生を代表して加藤綾菜さんが答辞を述べ、入学の時から思い出やインターンシップ、系列での学習、台風19号で伊具高祭を延期しても全校が一丸となって開催にこぎ着けたことなど高校生活を振り返り、保護者・教職員・友人への感謝の言葉があり充実した高校生活と締めくくりました。卒業生の前途に幸多かれと祈念します。



同窓会入会式・予餞会

2月28日(金)、卒業式を前に本校同窓会入会式が挙行されました。同窓会長佐藤吉市様をはじめ、役員の皆様にお祝いいただきました。佐藤会長からは、今年創立百周年の記念の年になり、卒業生も一緒に記念事業の成功に向けて取り組んで欲しいとお話をいただきました。入会者代表として加藤綾菜さんから、入会させていただくことの感謝とこれからの決意の言葉がありました。

同窓会入会式を前に予餞会を実施しました。新型コロナウイルス感染拡大予防のために3月2日から臨時休校が決まり、在校生は卒業生と過ごす最後の日になりました。3年間の思い出をまとめた映像が流れると懐かしい写真に歓声が上がり、部活動毎に先輩方からの指導や激励に後輩からの感謝の言葉がありました。お世話になった先生方からもビデオレターもあり、卒業生へのはなむけの言葉に溢れる時間になりました。

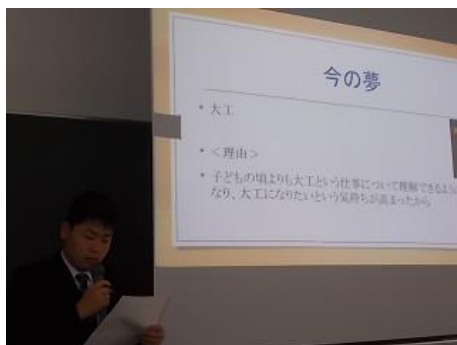


1年次 ライフプラン発表会

2月14日(金)に本校会議室を会場に、1年次生の「ライフプラン発表会」を開催しました。丸森町副町長佐々木秀之様、丸森町教育委員会教育長佐藤純子様をはじめ各中学校でお世話になった先生方、本校学校評議員の方々を御来賓にお迎えしての発表となりました。生徒達自身で司会進行等運営をし、発表する生徒だけでなく、聴く側の生徒もしっかりと聴いていました。

「産業社会と人間」の科目で、各生徒が幼い頃になりたい職業や夢等、過去を振り返りながら、これからの進路希望や仕事に対する考え方、目標を明確に述べました。その希望や目標を達成するために、学習を頑張りたい、部活動で県大会・東北大会出場を目指したい、就職に活かせるように資格を沢山取得したい、コミュニケーション力をつけたい、等々学校生活をどのように充実させていきたいかに等の内容でした。

丸森町教育長佐藤純子様から発表した生徒一人一人に講評をいただきました。「2050年に今の仕事はあるでしょうか?」と問いかけがあり、難しい社会であってもしっかりと生き抜き、人と関わりあって活かされていきたいと思いますとお話をいただきました。



全国高校生 MY PROJECT AWARD 2019 東北サミットに参加!

2月25日(土)に東北学院大学で開催された「令和元年度全国高校生マイプロアワード 2019 東北サミット」に井上美咲さん、齋藤優花さんが参加しました。2人は「丸森地産地消プロジェクト」についてプレゼンを行いました。丸森まちづくりゼミで発表し、YOMOYAMA COMPANY様から推薦を受けて発表しました。素晴らしい機会を得ることができました。

当日は岩手県の高校を除く東北5県から高校部門で30チーム、個人・グループ部門14団体が出場しました。高校部門は5チームずつ6ブロックに分かれて全体発表を行い、そこから代表8チームが選ばれて、最終2チームが全国サミットに出場することになります。井上さんと齋藤さんの発表はFブロックの1番目の発表でした。2人の自己紹介、丸森町の紹介、台風19号の被災について報告し、プロジェクトの取り組みを披露しました。地元の野菜や古代米を育て、収穫し、加工して販売する内容のプロジェクトを発表しました。今後は、町のお店の方々とコラボして新メニューを開発したいことを伝えました。発表を聴いた方からは丸森の特産のころ柿も使って商品開発をしてみてもいいという意見も出ました。発表後には古代米で作ったパンを審査員やグループの高校生に配って喜ばれました。代表には選出されませんが、素晴らしい発表でした。

高校生が自ら課題を見だし、地域の大人や企業の協力を得ながらプロジェクトを企画し、実践する発表が沢山ありました。高校生が地元を盛り上げようと一所懸命に「探究活動」に取り組む姿勢に感動しました。

